

# 図書館だより

## 7月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	24	25	26	27	⑳
30	㉓					

○印 休館日  
月曜日・月末館内整理日(28日)

深山木に雲ゆく蟬の奏べかな 蛇笏

蟬は、夏の目をやかましく鳴き騒ぐ昆虫の音楽家である。多くの蟬がいっせいに鳴き出すと、沛然と驟雨が到ったような感じがするので、蟬時雨と言っている。腹部の特別な室に張られてある薄い鼓膜を強い筋肉の力で振動させて音を発する。

『最新俳句歳時記』より  
七月七日は、七夕ですね。今年も図書館のロビーで七夕飾りを楽しめませんか。

### 今月の新刊図書案内

#### \* 一般図書

複合的ネットワーク社会 須藤 修  
書物の喜劇 ニート・ヴェーグ・イシュトヴァーン  
不思議現象なぜ信じるのか 菊池 聡

オックスフォード流人間学

「挫折」の昭和史 ジョン・グロス

チンギス・ハーンの未裔 山口昌男

新・護憲宣言 楊 海英

1940年体制 野口悠紀雄

アジア女性交流史 明治・大正期 山崎朋子

オオカミはなぜ消えたか 千葉徳爾

自然海塩の超健康パワー ジャック・ド・ラングレ

徹底分析・日本のゴミ問題 脇坂宣尚

飛行船ものがたり 天沼春樹

吟醸酒の来た道 篠田次郎

外一七九冊

#### \* 児童図書

10代の教養図書館 21〜30  
ぼくには故郷というものが無い 平和へ

絵で読む広島原爆 尾瀬をまもる人びと

おばあちゃんの玉手箱 こねこムーとミミィのぼうけん

うそつき咲っぺ 夏休みは大さわぎ

いっばい いっばい バルミールとともだちがくだん

ん・ん・ん・ん・ん 外八十六冊

第四十一回青少年読書感想文コンクール

の『課題図書』をご利用ください。なお、これらの図書は、別表の一坪図書館と地域コミュニ

ティセンターでも貸し出しをします。

#### \* 課題図書

〈小学校低学年の部〉

おばあちゃんがいるといいのにな ゆめをにるなべ

オーレ!ばくらのジェーリーグ やぶかのはなし

〈小学校高学年の部〉 おじいちゃんは荷車にのって サッコがいく

キツネの夏休み ふところにいだく生命の水・富士の自然

〈中学校の部〉 愛と悲しみの12歳

宇宙のみなしご 一本の樹からはじまった

〈高等学校の部〉 その時が来るまで

白磁の人 百年前の二十世紀

明治・大正の未来予測

### 都留市一坪図書館

館長名	所在地	電話	開館日	開館時間
佐波佳子	上谷5-5-28	45-0080	日	9時~12時
佐藤泰道	大幡3,417	43-2095	日	8時~11時
八代直之	大幡1,541	43-3329	土	13時~15時
中江秀雄	金井294	43-2096	土	13時~16時
北村あや子	四日市場1,104	43-3579	日	16時~18時
平井 貢	小形山1694	43-8408	金	14時~16時
前田 憲	与繩1,284	45-0207	土	14時~16時

### 心の健康シリーズ(27)

#### 意欲的子ども育成のための基礎的学力を身につけよう

#### 身につけよう

子どもにとって、人格や学力の成熟に不可欠な根気強さや向上心は机に向かっている座学では決して身につけません。成長すれば、するほど要求される意欲や向上心、つまり「見えない学力」の土台づくりには小さいうちから心がけ、育てていくことが大切です。

運動会のかげっこで、走っているのか歩いているのかわからないような子どもが見かけられます。これは決して持って生まれた運動神経のせいではありません。むしろメンタルな能力、意欲や競争心が乏しいからなのです。

こうした子どもには外遊びをうんとさせると、次第に子ども本来の活気が出てくるものです。この身体的な活気が、あらゆる意欲につながってくるところが、小さい子を指導する場合のポイントです。当然、幼・保育園や学校の勉強に對しても「頑張るぞ、負けないぞ」というやる気となってあらわれます。

お母さん方は、大人の感覚で、とかく「座学」のみを勉強ととらえがちですが、体を使って思いきり遊ぶことによって、活力、敏捷性、リズム感、競争心などが自然に養われるということを理解しておくことが大切です。

また、特に現代社会では、日常生活での制約が増加傾向にあります。「走るな!!、騒ぐな!!」のよ

うな時代環境からの「五感の抑制」が、子どもの遊び心へのストレスになっているケースにも十分注意を払って欲しいと思います。

「座学」より「遊学」、これが子どもの意欲を一段と飛躍させる、大前提なのです。

子どもの遊びには危険がつきものです。しかし、だからといっていつまでも親がそばについて見守るわけにはいきません。

これは「なぜ危ないのか」「ルールを守らないと、どんな事になるのか」を、日頃から言い聞かせ教えることが大切です。一緒に買物にいった時、夕食時、また、お風呂に入った時、具体的危険物をあげながら、こまめに安全教育をすることが必要です。

また、時には、川の近くや、道路横断、工事現場などに連れて行って危険を体験させることも必要です。言葉で言い聞かせるだけでは、かえって子どもの好奇心をおおるだけで逆効果です。

また、ふざけてやったとしても危険な行為をした時は、親が真剣に怒ることが大切です。子どもは、親の真剣な態度から、事の重大さを納得していきますし、危険を察知する能力を伸ばしていきます。

#### 教育相談室のご案内

子どもの就学、いじめ、不登校、心身障害など相談に応じます。  
場所 教育相談室(文化会館一階)  
時間 毎週 月~金  
午前9時~午後4時  
電話による相談も受けつけます。

☎(43)13323